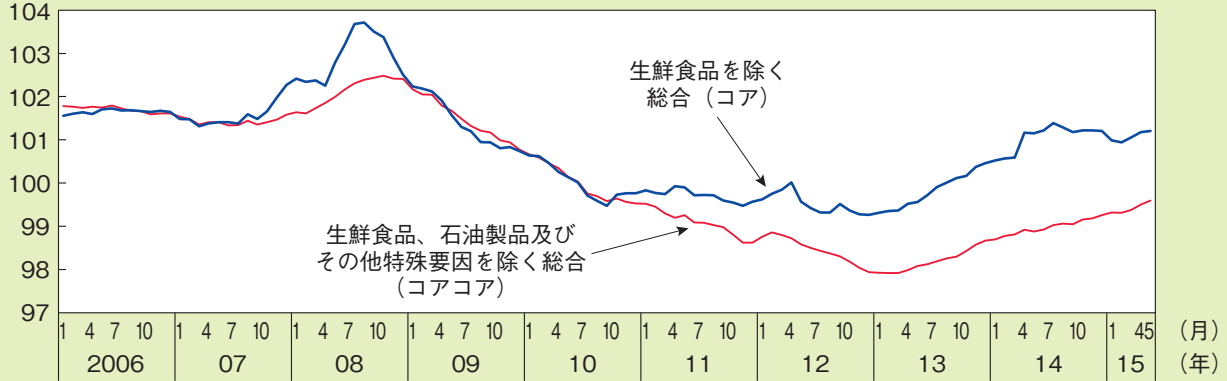


第1-2-5図 消費者物価の動向

消費者物価の基調は緩やかに上昇

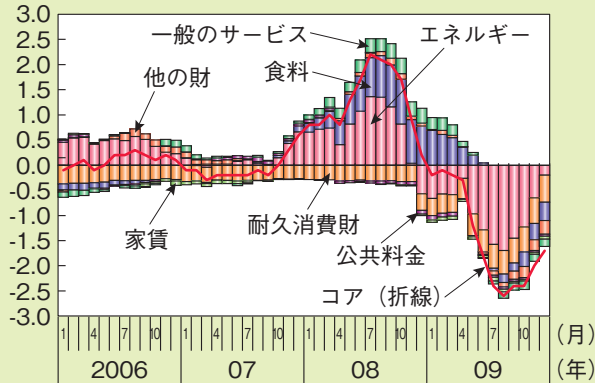
(1) 消費者物価のコア指標 (季節調整値)

(2010年=100)

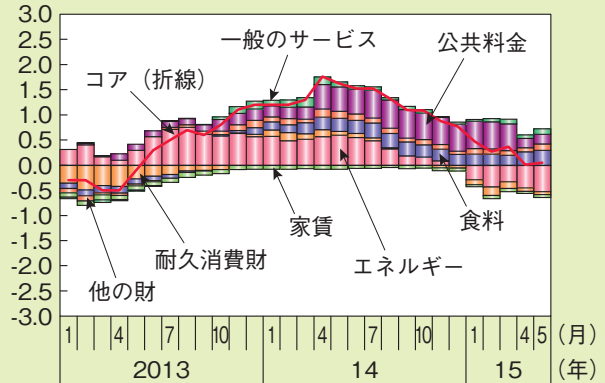


(2) 消費者物価 (コア) の要因分解

(前年比寄与度、%) 2006～09年

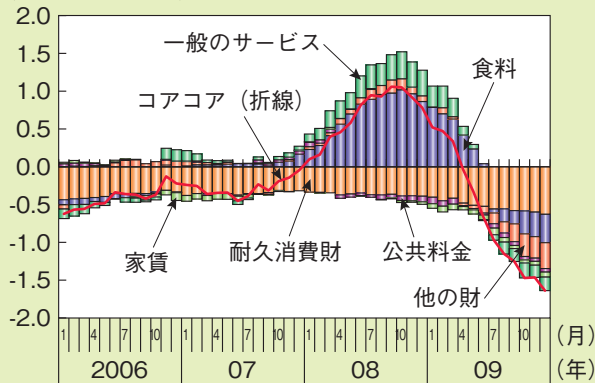


(前年比寄与度、%) 2013年以降

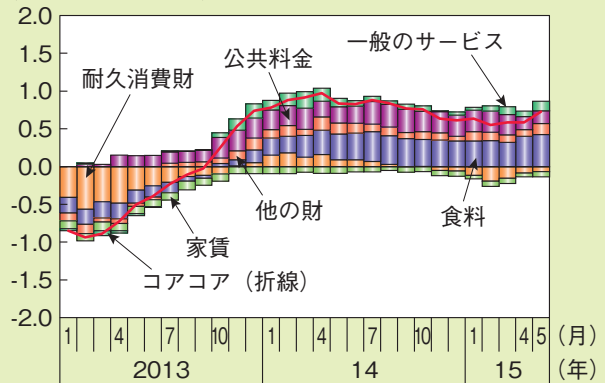


(3) 消費者物価 (コアコア) の要因分解

(前年比寄与度、%) 2006～09年



(前年比寄与度、%) 2013年以降



- (備考) 1. 総務省「消費者物価指数」により作成。連鎖基準方式。
 2. 消費者物価の「生鮮食品、石油製品及びその他特殊要因を除く総合 (いわゆるコアコア)」は、「生鮮食品を除く総合 (いわゆるコア)」から、石油製品、電気代、都市ガス代、米類、切り花、鶏卵、固定電話通話料、診療代、介護料、たばこ、公立高校授業料及び私立高校授業料を除いたもの。
 3. 季節調整値は内閣府試算。
 4. 消費者物価の前年比は、2006～09年は2005年基準指数により、2013年以降は2010年基準指数により算出。
 5. 2014年4月以降の消費者物価は、消費税率引上げの影響を除くベース。
 6. コアにおける一般のサービスは外食及び他のサービス、コアコアにおける一般のサービスはコアにおける一般のサービスから私立高校授業料を除いたもの。